

研修企画書

作成 2026 年 10 月 27 日

企画No.

26-000 a

ページ

1 / 3

提 出 先

様

研修テーマ 新入職員導入研修 ～ 自律型組織人

対象・人数

約 40 名

日 時 2027 年度 4 月

時間数

2 日間

テキスト・資料

会 場 貴院ご指定会場

原稿を納品いたしますので、ご参加人数分ご準備下さい。

担 当 講 師 ビジネスブレーション講師

◆ 学習の狙い

過去に学んだことが正解とは限らない時代には、自分の考えを言葉にし、他者との対話と振り返りを通じて自らの考え方を深める力が求められます。ACP を推進する医療・介護人材にとっても、自らの価値観や判断軸を自覚し、相手が大切にしていることを理解して意思決定を支えるうえで、重要な力です。

本研修では、グループ学習での対話を通して自分で考え、学び続ける姿勢を育みます。組織の使命を踏まえ、患者・家族とチームへの貢献を考えて行動する「自律型組織人」としての基盤をつくるとともに、自らの成長とキャリアを主体的に方向づけることを目指します。

- ・自律型組織人：組織の使命を踏まえ、患者・家族とチームへの貢献を考え、自ら判断し行動する。
- ・キャリア自律：自分が大切にしたいことや目指す姿を捉え、経験から学び、自らの成長を方向づける。

◆ 学習の目標

1. 組織の使命と自分への期待を理解し、ステークホルダーのために担う役割を考える。
2. 何を大切にしているかを決めるかを言葉にし、他者との対話を通じて判断軸を見直す。
3. 関係性構築に必要なコミュニケーションと、サービス提供者としての基本行動を学ぶ。
4. 安全・効率・コストを踏まえ、科学的な仕事の進め方を学ぶ。
5. 正確な指示受けと、患者・チームの判断や行動につながる報告・連絡・相談を学ぶ。
6. 感情や思い込みに気づき、困難な場面での対処や周囲への支援の求め方を考える。
7. 学びを振り返り、自己成長目標を設定する。

◆ 研修の方法

研修前 SNS による事前学習。自分が大切にしていることや、目指す社会人像を考える。
 研修中 講義、グループワーク、ケース検討、ロールプレイング、相互フィードバック。
 研修後 3 か月後、具体的な経験からの成長を 4 側面で振り返り、次の行動目標を考える。

◆ ご準備いただくもの

- ・ホワイトボード
- ・模造紙 … 3 枚/グループ
- ・水性マジック … 1 セット/グループ
- ・パワーポイント用プロジェクタ&PC
- ・グループ編成表 … 4～5 名/グループ
- ・付箋 (75×75) … 100 枚/グループ

◆ その他のお願い

各自スマートフォン、iPhone、iPad など QR コードを読み取れるデバイスをご持参のうえご参加ください。

有限会社 ビジネスブレーション

TEL 044-865-3081

企画

永 井

時 間	カ リ キ ュ ラ ム	主 な 内 容
09:00	<p>○研修の狙い (講義・グループワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習目標の確認 ・学習型組織とグループづくり <p>○施設の一員としてのあり方 (講義・グループワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生と社会人の違い ・関係性構築の重要性とポイント ・挨拶の基本 <p>○施設の一員としてのあり方 (講義・グループワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業コンセプトと私たち ・ステークホルダーとは ・ステークホルダーへの社会的責任 ・私が心がける責任ある行動 	<p>*目的・目標を共有する。</p> <p>*互いの考えを安心して表明し、違いから学ぶためのグループ学習の態勢を整える。</p> <p>*学生意識を払拭し、社会・組織人への切り替えを図る。</p> <p>*成功の循環モデルについて学び、関係性構築の重要性を確認する。特にここではコミュニケーションのきっかけづくりとしての挨拶基本行動を学ぶ。</p> <p>*施設のミッションと、患者・家族や職場の仲間などの期待を確認する。それぞれの立場から、期待に応え信頼につながる行動を考える。</p>
12:30	昼 食	
13:30	<p>○組織人・社会人意識 (講義・グループワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織とは ・組織人に期待される意識 ・職場のルール的重要性 <p>○科学的仕事の進め方 (講義・グループワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利益に貢献できる職員とは ・安全、効率と5S ・問題解決思考(PDCA・AAR) <p>○チームワークと対話力 (講義・グループワーク・演習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指示受けと計画 ・報告・連絡・相談の基本 ・共感、質問・傾聴の基本 ・情報整理の基本 <p>○心理的柔軟性を磨く (講義・演習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レジリエンスとは ・感情のマネジメント ・支援の求め方 	<p>*組織とは、組織形成の目的は何か、を学ぶ。同時に組織人意識、目標達成意識、協働意識を体験的に学びとる。</p> <p>*就業規則の目的と意義を学び、演習をとおしてルール遵守の個人方針を明確にする。</p> <p>*損益分岐点図表を基に、サービス原価について学び、コスト意識を醸成する。</p> <p>*整理整頓と安心・安全・効率の関係を明確にする</p> <p>*問題解決思考(PDCAとAAR)をチーム活動に照らして学ぶ。</p> <p>*正確な指示受けと、指示を行動計画につなげる仕事の進め方について学ぶ。</p> <p>*タイムリーな報告・連絡・相談の基本を学ぶ。</p> <p>*情報を整理・分類し簡潔化して伝えるための基本を学ぶ。</p> <p>*活動中に困難に遭遇し強いストレスを感じた時に、自分を回復させる方法、支援の求め方、目的に沿う行動を考える。</p>
17:00	○まとめ	*学習したことの振り返りをする。

時 間	カリキュラム	主 な 内 容
09:00	<p>○前日の振り返り</p> <p>○サービス基本行動 (講義・グループ実習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私が目指すサービス ・サービスの資源 ・関係性構築と第一印象の影響力 ・私の強みを活かした身だしなみ <p>○対話のマナー (講義・グループ演習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敬語の基本 ・関係性の構築とクッション用語 ・スピーチロックとは ・言動の背景を理解した対話 	<p>*前日の学びを確認する。他者の考えに触れて、自分の着目点や判断の根拠がどう変わったか、を言葉にする。</p> <p>*自分の立場で提供するサービスと、その資源を明確にする。</p> <p>*第一印象と関係性の関係を確認し、自己の強みを活かした身だしなみを考える。</p> <p>*敬語の基本と使い分けを学ぶ。</p> <p>*相手の人格や感情に配慮し、言動の背景を考える。</p> <p>*言葉による拘束の影響を理解し、思いに寄り添う表現を演習する。</p>
12:30	昼 食	
13:30	<p>○爽やかな対応の基本 (講義・グループ演習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お迎えの仕方 ・ご案内の基本 ・執務中の姿勢 ・エレベーターでのマナー ・フィードバックの受け止め方 <p>○電話対応の基本 (講義・グループ演習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電話対応の特徴 ・電話対応の基本～演習 <p>○キャリアデザインの重要性 (講義・演習・実習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアとは ・キャリアを考える3つの問い ・私の動機の源 ・自己成長目標 <p>○まとめ</p>	<p>*患者・家族の呼び出しや本人確認等、日常の場面を想定する。安全と安心につながる対応を実践し、相手の立場からフィードバックを行う。</p> <p>また、自己成長に向けたフィードバックの受け止め方、フィードバックのリクエストの仕方を学ぶ。</p> <p>*電話によるコミュニケーションの基本知識を確認し、ロールプレイングを行う。</p> <p>相手やチームが次の行動を取れる情報として伝わっているかを確認、振り返りと再実践で改善する。</p> <p>*自分が実現したいことや動機の源を捉え、患者・家族とチームへの貢献と結びつける。</p> <p>*1年間の目標と3か月後の中間ゴール、具体的な行動を設定する。</p> <p>*視点・視野・判断軸・役割意識の4側面で、研修を通じた気づきを整理する。</p> <p>*職場で試す行動と、報告・相談など必要な支援の求め方を明確にする。</p>
17:00		

※ 講師の判断で一部内容を変更することがあります。